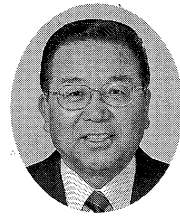


宮私幼PTAだより

第86号

発行者 合会
行 連 美 者 員
P T A 美 者 員
私 幼 長 集 委
会 編 報 集 委
事務局長 編報集委
事務局 青葉区国分町三丁目6-12 佐正第二ビル6F
電話 (022) 263-7040



早期に、
幼児教育無償化を！

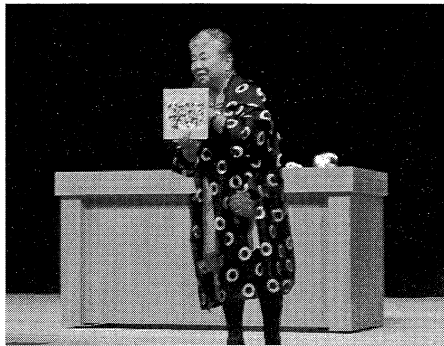
会長 渥美 巖

東日本大震災から四年半が経過しようとしております。今年六月末の県内被災概要では、死者・行方不明者、一一七七七人、全壊家屋八二九九七棟、被害額九兆二二三〇億円となっております。宮城県震災復興計画では復旧期三年、再生期四年、発展期三年の十年間としており今年度は再生期二年目となります。これら復興財源の多くが国からの交付金等であり、国の動向が復興加速に影響を与えることとなります。国は二十七年までを集中復興期間とし、二十八年度以降は「復興・創生期間」として六・五兆円追加し、総額三十二兆円程度の財源確保をすることなので安堵しております。

現在仮園舎で活動している三園についても早期復旧を祈念しております。

六月一日開催された総会で今年度も①すべての子どもの為に、よい環境をつくらう。②よい親、よい教師となる為の研修を深めよう。③保護者の負担軽減の為、更に努力しよう。三つの目標を掲げております。宮城の将来を担う子ども達は私達の宝でありますし、幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培うものでありますので、県私立幼稚園連合会と一体となつて活動して参ります。

去る七月十三日、東京で開催された全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会で、来賓として出席された安倍総理大臣は、「家庭の経済状態に左右されることなく、全ての子ども達に質の高い幼児教育を保障できるよう、幼児教育の段階的な無償化へ取り組む」と、祝辞を述べておりますので、早期実現を期待したいと思います。



一、十、百、千と聞くと、お金のことをイメージしがちだが、お金よりも大事なものがあふ。一番は、子どもの命や、自分の命、子どもは、毎日新しい一日を生きていて、そして新しい何かと出会っています。新しい出会いをして、自分なりに意味付けすることが、「教育」であることでした。子どもと一緒に暮らせることは幸せです。楽しい思い出、愉快な出会いを作つて、楽しくなることを一緒に感じられるとよいということでした。

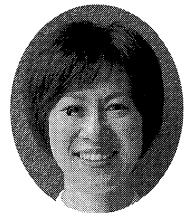
十は、先生が代表をされている「ピーアイ宣言十条」で、一、自分になるために人は生まれてきた。二、いいところはみんな違う。三、一緒にいるだけで！四、違う意見は大事だ！五、自分がどうしたいか聞いてみる。六、一枚の葉、流れる雲も先生。七、街は学校。地球は遊び場。八、Look Good! Feel Good! 九、生かされていく。十、失敗は成功のだしの素、「子育て」は、子育てと親育ちが合わさって出来ている。子どもを育てるには、タネも仕掛けもある。機嫌の良い家庭は、幸福感が高い。機嫌の良い家庭にするには、①運動②感謝③学ぼう④与えよう⑤繋がるうがポイントになるということでした。百は、言葉を混ぜながら、歌を



歌いながら動くことだそうです。最後に、日常が大事、愛が大事で、たった一つの命を、愛を増やし、自分の子だけでなく、ご機嫌な子どもを育ててほしいとのことでした。

関口先生のお話は、とても楽しく、あつという間の時間でした。子どもの気持ちに寄り添い、愛を持って沢山のご機嫌な子どもを育てていきたいと思えました。

第二部の振興大会は、「幼児教育の再構築にむけて」子育ては、親と地域と幼稚園」というスローガンのもと、行われました。「子ども達のすこやかな成長・発達・安全のため、親と地域と幼稚園の絆を高めていくためには、より安心して子育てできる環境が必要である。経済的負担を軽減するため、公的助成の拡充を引き続き関係機関に求めていく。」という大会宣言があり、閉会となりました。



宮私幼教育振興大会並びに
宮私幼PTA研修大会を終えて

古城幼稚園 (T)
研修副部長 川村 宏美

平成二十七年宮私幼教育振興大会並びに第四十四回宮私幼PTA研修大会が、去る六月二十九日東京エレクトロンホール宮城にて開催されました。当日は、県内各地より多くのPTAの方々にご参加頂き、盛大な大会となりました。第一部の研修大会では、「一、十、百、千といったら？：日常が大事」と題して、ハート&アート空間「ピーアイ」代表の関口伶子先生をお迎えし、ご講演頂きました。

どもは、毎日新しい一日を生きていて、そして新しい何かと出会っています。新しい出会いをして、自分なりに意味付けすることが、「教育」であることでした。子どもと一緒に暮らせることは幸せです。楽しい思い出、愉快な出会いを作つて、楽しくなることを一緒に感じられるとよいということでした。

十は、先生が代表をされている「ピーアイ宣言十条」で、一、自分になるために人は生まれてきた。二、いいところはみんな違う。三、一緒にいるだけで！四、違う意見は大

全日本私立幼稚園PTA連合会 全国大会参加報告



質の高い幼児教育を

岩沼西こぼと幼稚園 (P)

副会長 鈴木 真奈美

去る七月十三日、ホテルオークラ東京にて全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会『次代(あす)を担う子どものために』が開催され、の振興に向けて』が開催され、参加して来ました。

第一部では河村建夫会長、森喜朗最高顧問らが挨拶され、また、安倍晋三内閣総理大臣が祝辞を述べられました。

総理は祝辞の中で「子どもが未来に希望を持ち、夢を実現する意思を持って進む手助けをする事が教育の役割。幼児期の教育は人格形成の基礎を培う大切なものである。家庭の経済状態に左右されることなく、全ての子ども達に質の高い幼児教育を保障できるように、幼児教育の段階的な無償化へ向け取り組んでいきたい」と政府の方針についても触れられました。第二部では、文科省初等中等教育局長である小松親次郎氏が『幼児教育の振興方策について』と題した講演をされ、「幼児教育の効果を実証するのは難しいが、アメリカにおける調査(ペリー就学前

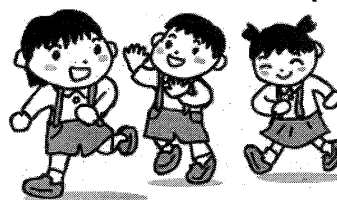
計画)からもわかるように、幼児期の教育は生涯にわたる学習の基礎であり、社会的に新たな富を生む先行投資。単なる無償化でなく質の高い教育の無償化が目標となる」と語られました。

続けて、雅楽師の東儀秀樹氏が講演されました。「今この瞬間だけの表情を見られると思えば、赤ちゃんの夜泣きのために息をつくことすらもつた

ない。親が子どもの奔放さに振り回されるのをむしろ楽しむ気持ちで子育てしては」と提案され、「親が先回りして危険を阻止する事で『危機管理』ではなく『防衛管理』になってしまっていないか。子どもにはある程度の失敗をさせ挑戦、冒険させたい」と自身の子育て論についても語られました。

また、日本の美しい文化を継承できる『文化力』を育みたいと話され、持参された雅楽の楽器で唱歌を演奏して下さいました。

スローガンにある『次代を担う子ども』を持つ親として、責任の重さを再認識するとともに、親になれた事をわが子に感謝したい気持ちになりました。実りの多い一日であったと思います。



平成二十七年役員名簿

会長 渥美 巖 矢本はなぎ P

副会長 中島 源陽(体)いわてやま P

鈴木真奈美(体)岩沼西こぼと P

稲富 将夫(広)矢本はなぎ T

横澤 行夫(研)お人形社第二 T

星 直美(研)みどりの森 P

伊藤 尚美(体)成田中央 T

伏谷 修一(体)八幡花園 P

菊地 幸成 宮私幼事務局

寺澤 正志(体)八幡花園 P

常任委員長 佐々木幸士(体)富 沢 P

◎岩山 伸次(体)東 盛 P

菅原 彰(体)すがわら T

〇〇佐々木拓真(広)ゴールズ T

菅原 綾子(研)九 条 P

佐々木 真(広)あさひ P

笹原 宗悦(研)いわてやま P

〇〇カシマ(広)万 石浦 P

早坂あゆ美(体)成田中央 P

馬場 牧子(体)岩沼西こぼと T

高橋亜衣子(広)浄 心 P

〇〇小林 雅子(広)しげる P

高橋左紀子(広)しげる P

〇〇佐々木里奈(研)古 城 P

〇〇川村 宏美(研)古 城 T

〇〇小島 芳(研)みどりの森 T

〇〇浦山 由起(研)おたまや P

〇〇岩本 京子(研)おたまや P

〇〇島山ひで子(研)九 条 T

〇〇小島 孝尋(広)あさひ T

〇〇平塚 正寛(研)いわてやま T

〇〇柳澤 隆志(研)築館マリア P

〇〇大野 純子(体)利根 雲 T

〇〇我妻 昭子(広)浄 心 T

〇〇中野 正志 お人形社第二 P

〇〇中沢 幸男 高城学院附属 P

〇〇各支部 (体) 体育部

〇〇各支部 (研) 研修部

〇〇各支部 (広) 広報部

平成二十七年 今後の会活動予定

9月3日 バレーボール代表者会

9月 第二回役員会

10月20日 第四十回 親善バレーボール大会 (グランディ21)

2月 東北地区私幼PTA 連絡会議

3月1日 PTAだより 第87号発行

時期未定 地区研修会 (名取岩沼地区・大崎地区)

時期未定 知事陳情

あとがき

爽やかな秋風とともに「宮私幼PTAだより八十六号」をお届けいたします。

今年度は「宮私幼PTA研修大会」が六月末、「全日本私幼PTA全国大会」が七月開催となったため、本号の紙面の大部分を、その報告記事に使わせて頂きました。次号では、今回掲載できなかった各地域のPTA活動などを中心に編集していきたいと思っております。

夏休みが終わり、子ども達は一人まわり大きくなったことでしょう。今後も家庭で園で地域で、未来の宝の子ども達の成長を見守っていただきたい、あながきとさせていただきます。

(広報部長)



～幼児教育の振興に向けて～